



広報

なは

市民の友

第820号毎月1回発行

2019年(令和元年)

5月

発行 那覇市
〒900-8585那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷 株式会社 池宮商会
配布 那覇市シルバー人材センター



第一牧志公設市場の これまでとこれから

市民や県民の台所として親しまれてきた第一牧志公設市場。沖縄ならではの新鮮な食材が並び、人情あふれるコミュニケーションを味わうことが出来る場所として、最近では外国人観光客にも人気があります。施設の老朽化対策のため建替えを予定する第一牧志公設市場を、写真と共に振り返ります。

なはまち振興課 ☎ 863-1750



①1952年の場外露天販売、②現在の場外市場、③1960年代頃の公設市場、④現在の公設市場は観光客も多い、⑤沖縄ならではの食材が並び、⑥年末は地元客で賑わう

※①③は那覇市歴史博物館提供

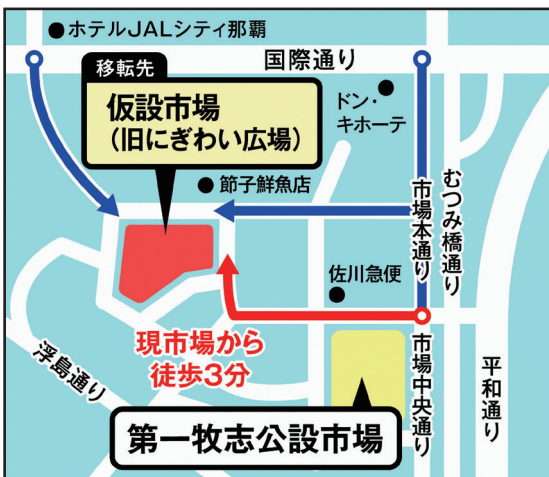
戦後間もない昭和22年、現在の開南バス停付近に露天商が集まり、自然発生的に闇市が形成されました。しかし、衛生面での問題や交通面での危険があったことから、闇市の移転先として市が建設に着手したのが現在の第一牧志公設市場の始まりです。

昭和25年、精肉鮮魚市場として木造セメント瓦葺の平屋造りの施設に開設され、その後、昭和47年に建替えられて現在の建物となりました。

売り手と買い手の話し合いで気さくに取引する相対売りや、1階店舗で購入した食材を2階の食堂で調理し食べることができる「持ち上げ」と呼ばれるユニークなシステムは近年、市民・県民だけでなく、観光客にも人気を高めています。

しかし、天井コンクリートの剥離や壁のひび割れなど劣化が進む中で、市は第一牧志公設市場を現在の場所で再度建替えることに決めました。

3年間の建替工事期間中は現市場



から北西100mほど離れた、「旧にぎわい広場」の仮設市場で営業を行います。仮設市場は、1階に物販売場、2階に食堂を設け、現市場と同様に「持ち上げ」による飲食ができます。開放感のある雰囲気はそのままだに、安全・安心・快適に買い物を楽しめる市場として7月にオープンします。

移転スケジュール

6月16日	現市場の営業終了
6月17日	市場閉鎖期間
6月30日	
7月1日	仮設市場の営業開始
：	現市場解体工事&新市場建設工事開始
2022年度	新市場オープン



仮設市場イメージ

主な紙面

- 第一牧志公設市場のこれまでとこれから……………1
- 那覇市制施行98周年記念式典／第45回那覇ハーリー ……2
- 平成31年度なはしの予算／狂犬病予防注射ほか ……3
- 情報パック……………4～7
- 博物館トピックス／ニュースダイジェスト……………8

総人口 321,094人(4,941人) 世帯数 152,464世帯(3,435世帯)

男:155,465人(2,603人)
女:165,629人(2,338人)

※()内はうち外国人
※総人口と世帯数は2019(平成31)年3月末現在

Facebook



LINE



Instagram



防災 Twitter



マチイロ



そだごみ受付



新たな歴史刻む 牧志公設市場

はいたい。昭和25年の開設から69年、長い歴史とともに地域に親しまれ、市民の台所として愛されてきた第一牧志公設市場。私も幼い頃、家族と一緒に市場へ買い物に行くのをとても楽しみにしていた記憶があります。このたび、第一牧志公設市場は施設の老朽化による建替えのため、一時的に近隣の「にぎわい広場」へ移転することとなりました。

本市では、7月に移転オープンする仮設市場や3年後にオープンする新市場が、店主とお客様が気さくに触れ合える、そして皆様にますます愛着を持っていただける市場となるよう整備を進めています。

ぜひ移転後の市場へもお越しいただき、新しいなはのマチグワーをお楽しみください。

那覇市長 城間 幹子

